

活動報告

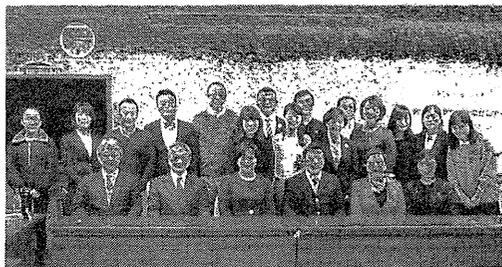
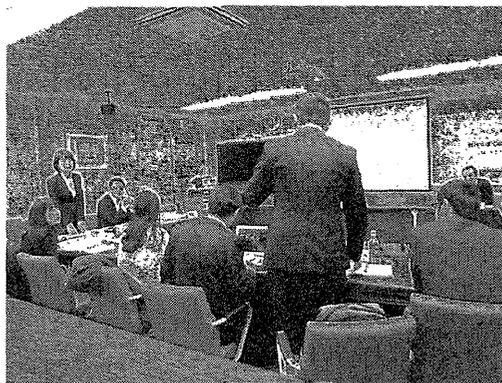
中国・華東師範大学との研究交流活動

博士前期課程教育学専攻，後期課程教育基礎学専攻，学校教育学専攻，3年制博士課程ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野では，共同で中国・華東師範大学との研究交流を続けている。2016年度は「中国国家重点3師範大学との連携強化による教育学ダブルディグリープログラムの開発」というタイトルで大学の「革新的な教育プロジェクト支援事業」の交付を受けて取り組んだ。その一環として，2017年3月5日から3月9日にかけて，6名の教育学部教授陣と4名の博士課程院生を招聘して交流を深めた。来学したのは，韓春紅副教授，白芸副教授，劉春玲教授，汪曉勤教授，李月琴副教授，沈曉敏教授と，院生の李政氏，屈璐氏，李永剛氏，余曉暢氏である。

今回の訪問は，2016年11月に甲斐雄一郎教授，浜田博文教授，上田孝典准教授が華東師範大学を訪問した際に袁振国教育学部長と面会して教育学部教授と院生を本学へ招聘して国際交流セミナーを開催することを約束して実現したものである。将来的には国際共同学位プログラムの開設を見据えて教員と院生が研究交流を活発にしていけることがそのねらいである。

3月6日には，両大学の博士課程院生による「教育学研究国際交流セミナー」が開催され，来日した4名の院生と，本学の教育学専攻1年・江幡知佳，同専攻2年・小宅優美，学校教育学専攻3年・呂光暁がそれぞれ，自身の研究内容について英語で発表し，両方の教員を交えて質疑応答を行った。発表はいずれも両国の教育課題を反映した興味深い内容で，熱心な質疑応答が行われた。セミナー終了後，6名の教授陣は本学のベントン国際担当副学長を表敬訪問して今後の国際交流について懇談した。

(文責：浜田博文)



ニュージーランドでの交流活動報告

2017年3月13日(月)から18日(土)にかけて、教育学域とオークランド大学との交流活動がおこなわれた。教育学域からは、教員2名(井田仁康, 上田孝典)と院生4名(久保園梓, 江幡知佳, 高野雅暉, 野田紘史)が派遣され、オークランド大学とニューマーケット小学校を訪れた。

1. オークランド大学との学術交流

オークランド大学では、教育学部の John Hope 上級講師, Kerry Maree Lee 上級講師の2名から、ニュージーランドの教育について、学校教育制度を中心にご説明を頂いた。ニュージーランドの学校教育では、「児童生徒中心(student-centered)」の理念のもと、各教科のカリキュラムが段階式に作成されていた。1クラスも最大25名までとされており、児童生徒一人ひとりの学びの様子を見極め、適切な支援をする能力が教師には求められていた。

その後、ニュージーランドの教育と日本の教育の違いについてのディスカッションを通して、両者ともに意見を交わし、交流を深めた。

また、オークランド大学で開設されている教職に関する講義を参観することができた。講義では、ニュージーランドの公的機関が設定しているカリキュラムを、他国のものと比較しながら批判的に読み解く活動がおこなわれていた。



写真1 ディスカッションの様子

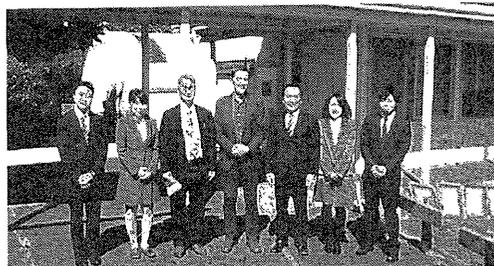


写真2 John Hope 氏との集合写真

学生たちは、自らの意見や講義内容に関する質問について、積極的に発言していた。

2. ニューマーケット小学校の見学

ニュージーランドでは、グローバル化の進行に伴い、児童の民族的背景の多様化が進行している。その傾向は、オークランド市内にあるニューマーケット小学校においても顕著にみられ、英語やマオリ語以外の第一言語を持つ児童が数多く在籍していた。管理職の方からニューマーケット小学校の概要や教育方針についてご説明を頂いた後、授業を参観した。

ニューマーケット小学校では、教室の壁を取り除いたオープン・スクール方式が採用されており、児童が個々に、ICT等を活用しながら好きな場所で学習に取り組んでいた。なかには、教師が児童を集め、ホワイトボードを背に一斉授業をおこなっていたクラスもあり、学習内容や児童の状況に合わせて学習方法の選択がおこなわれていた。(文責：久保園梓)

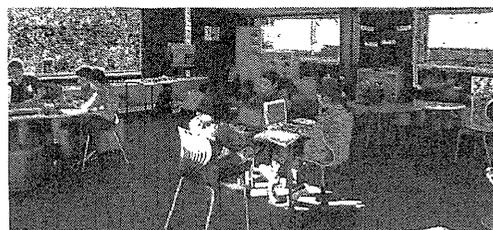


写真3 ニューマーケット小学校の授業風景